

結果の要約

1 職業

福岡県の15歳以上就業者数(2,297,154人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業員」が590,209人(15歳以上就業者数の25.7%)と最も多く、次いで「事務従事者」が442,831人(同19.3%)、「販売従事者」が383,466人(同16.7%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が25,416人(11.5%)増、「保安職業従事者」が3,288人(8.1%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が9,232人(14.3%)減、「農林漁業作業員」が5,674人(6.6%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が36.0%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が29.4%、「販売・サービス関係職業」が29.3%、「農林漁業関係職業」が3.5%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.7ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」が0.8ポイント低下、「事務・技術・管理関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ0.2ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業員」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業員」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.6時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が50.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.7時間、「販売従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.8時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.0時間減、「販売従事者」が1.8時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が477,476組(夫婦数1,159,074組の41.2%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が377,879組(同32.6%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業員」である夫婦が44,009組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の9.2%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業員」、妻が「事務従事者」である夫婦が40,271組(同8.4%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は609,889世帯(住宅に住む一般世帯1,956,396世帯の31.2%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は1,346,507世帯(同68.8%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が436,857世帯(同22.3%)、「女性のみ」の世帯が304,742世帯(同15.6%)、「幼児と女性のみ」の世帯が107,148世帯(同5.5%)となっている。

図1 福岡県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

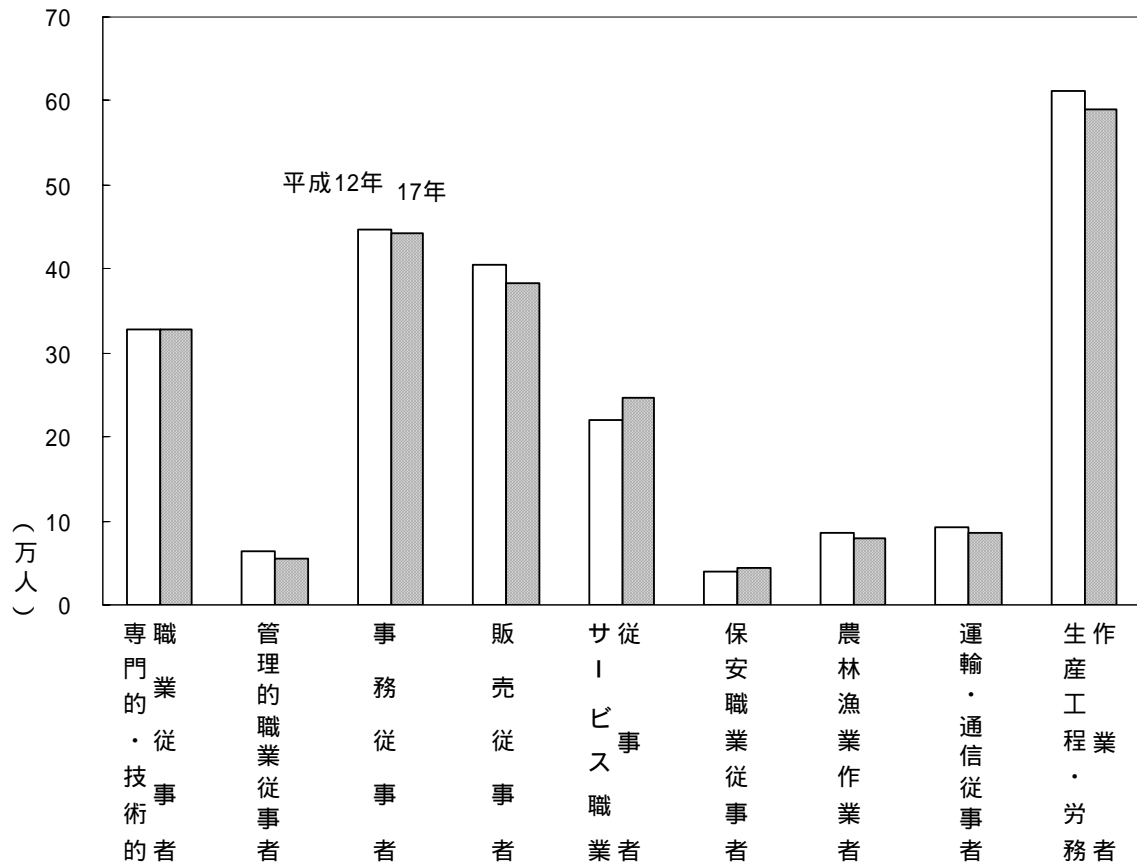


図2 福岡県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

